

コロナ禍を越えて 協会活動への抱負と今後の活動方針

－ 会長就任会見 －

2023年5月22日
日本OTC医薬品協会
会長 杉本 雅史

－ Agenda －

1. OTC医薬品産業グランドデザイン to 2025
現時点の**Review**（2015年公表－2022年改訂版）
2. 協会活動への抱負
3. 今後の活動方針

OTC医薬品産業 ブランドデザイン 改訂版 to 2025

2015年5月公表
2022年5月改訂

テーマ：セルフメディケーションが 人を守り、医療を守る



イラスト：日本一般用医薬品連合会

👉 4つの環境整備
👉 11の政策課題

健康をKeyに持続可能な社会へ (SDGs)

1

生活者の行動変容を 支援する環境整備

- ①ヘルスリテラシー向上のための支援
- ②医師や薬剤師、登録販売者等、専門家によるセルフメディケーション支援
- ③セルフメディケーション税制拡大による公的保険外の支援

2

OTC医薬品が活用 される環境整備

- ①OTC医薬品とOTC検査薬の利用拡大
*海外と同等の水準までスイッチ化促進
- ②生活者にわかりやすいリスク区分や表示の見直し
- ③OTC医薬品の効能範囲拡大

3

Digital活用でOTC 医薬品がアジアに普 及する環境整備

- ①ASIA各国へのECビジネス強化に向けた調査
- ②各国EC関連規制への対応
- ③模倣品や非正規ルート、商標侵害等への対策

4

環境保全の整備

- ①カーボンニュートラルの実現
*2013→2030年度
CO2 46%削減
- ②循環型社会形成自主行動計画
*2000→2025年度
産業廃棄物最終処分量
75%削減、産業廃棄物
再資源化率60%以上へ

OTC医薬品産業グランドデザイン改訂版 チャート



医師や薬剤師など専門家の支援により適切なセルフメディケーションを普及啓発

セルフメディケーション・セルフケアの範囲



ヘルスリテラシーの向上

セルフメディケーション
教育体制の整備

セルフメディケーション
の日/週間の定着



医師や薬剤師など専
門家による支援

【2025年に実現させたい生活者の行動変容と便益】

スイッチOTCや検査薬 の選択肢拡大

速やかな
トラブル対応

- ・感染予防&時間節約
- ・セルメ税制で還付

セルフメディケーションで
自分の健康は自分で守る



気づき・早期発見・受診・健康管理

軽度な疾病や怪我は
セルフメディケーション対応

家庭や
地域で
支える

ヘルスリテラシー
アップ

世界に冠たる医療
制度を次の世代へ

皆保険をパンクさせず、医師
や薬剤師等の支援を得る



オンライン診療や
健康相談等も活用



日本のセルフメディケーションを
ASIAへ（越境等）

生活者の行動変容の支援 （生涯通じたヘルスリテラシー教育）

ライフステージに
合わせた健康管理



健康情報

理解する

入手する

評価する

活用する



（セルフメディケーションの日/週→月間活動へ）

セルフメディケーションが、人を守り、医療を守る！

— 健康をKeyに持続可能な社会へ —

OTC医薬品産業グランドデザイン to 2025 (2022年改訂版)

— 現時点までのReview —

◎ 成果が出てきたこと (主なもの)

1. セルフメディケーション税制の対象拡大 及び、申請の簡素化

- ・ スイッチOTC以外も対象に
- ・ マイナンバーカード普及と共にオンライン申請推進



2. コロナ対策のため検査キットをOTC化、自宅療養に備えてOTC医薬品の家庭への常備化支援

- ・ 感染拡大と医療機関のひっ迫を防ぐために“セルフチェック”を支援
「新型コロナ抗原検査キット」と「新型コロナ&インフルエンザ同時検査キット」のOTC化
- ・ 自宅療養で解熱鎮痛剤や風邪薬などOTC医薬品の常備化支援

3. 製薬業界あげての環境保全整備へ参加

* ()内は2021年度の進捗状況

- ・ カーボンニュートラルの実行：2013→2030年度CO2 46%削減 (16.8%)
- ・ 2000→2025年度 産業廃棄物最終処分量75%削減 (80.7%減・・・達成)
及び、産業廃棄物再資源化率60%以上へ (63.4%・・・達成)

○ 実現に向けて着手中（主なもの）

1. 生活者のヘルスリテラシー向上のための支援

- ・ 中高校生向け「健康・くすり教育資材」の提供
（2023年4月協会Webサイトでスタート）
- ・ 健康教育プロジェクトの発足
（小学生、中・高校生、親や大人に向けたヘルスリテラシー向上支援）



2. Digital活用でOTC医薬品がアジアに普及する環境整備

- ・ 国際委員会 国際展開支援部会が中国SNSで日本のOTC医薬品PR活動スタート（越境E C、インバウンド需要の対応強化）
- ・ 近日、中国・京東（ジンドン）に会員企業で共同出店

日本OTC医薬品協会
WeChat
公式アカウントQR
コード



日本OTC医药品协会会员链接

JSMI 2023-01-30 11:03



× 実現に向けて見直し

OTC医薬品が活用される環境整備

事業活動戦略会議のプロジェクトで、国民（生活者）に向けてセルフメディケーションやOTC医薬品で貢献するための推進指標を改めて設定するなど具体的な計画と工程表を行政と共に策定し、その実現に向けてPDCAを回していけるようにする。

- ・ 海外と同等の水準までスイッチ化促進
- ・ 生活者にわかりやすいリスク区分や表示の見直し
- ・ OTC医薬品の効能範囲拡大



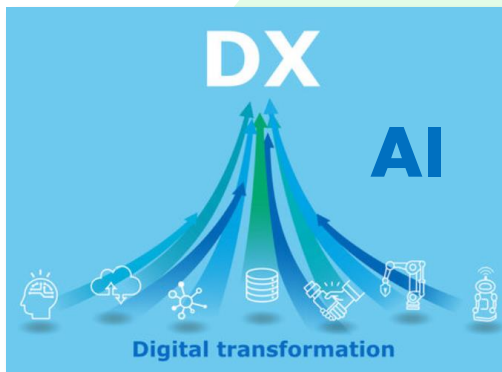
協会活動への抱負

自分健康は自分で守るセルフケア・セルフメディケーションにおいて
これからの活動で大切にしたい「4つのKey Word」

Well-being



Digital transformation



Sustainable Development Goals



Public Relations



今後の活動方針

1. 当協会だけではなく、国民、行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、健保連、マスコミなどとの連携や協力を念頭に置いた活動強化

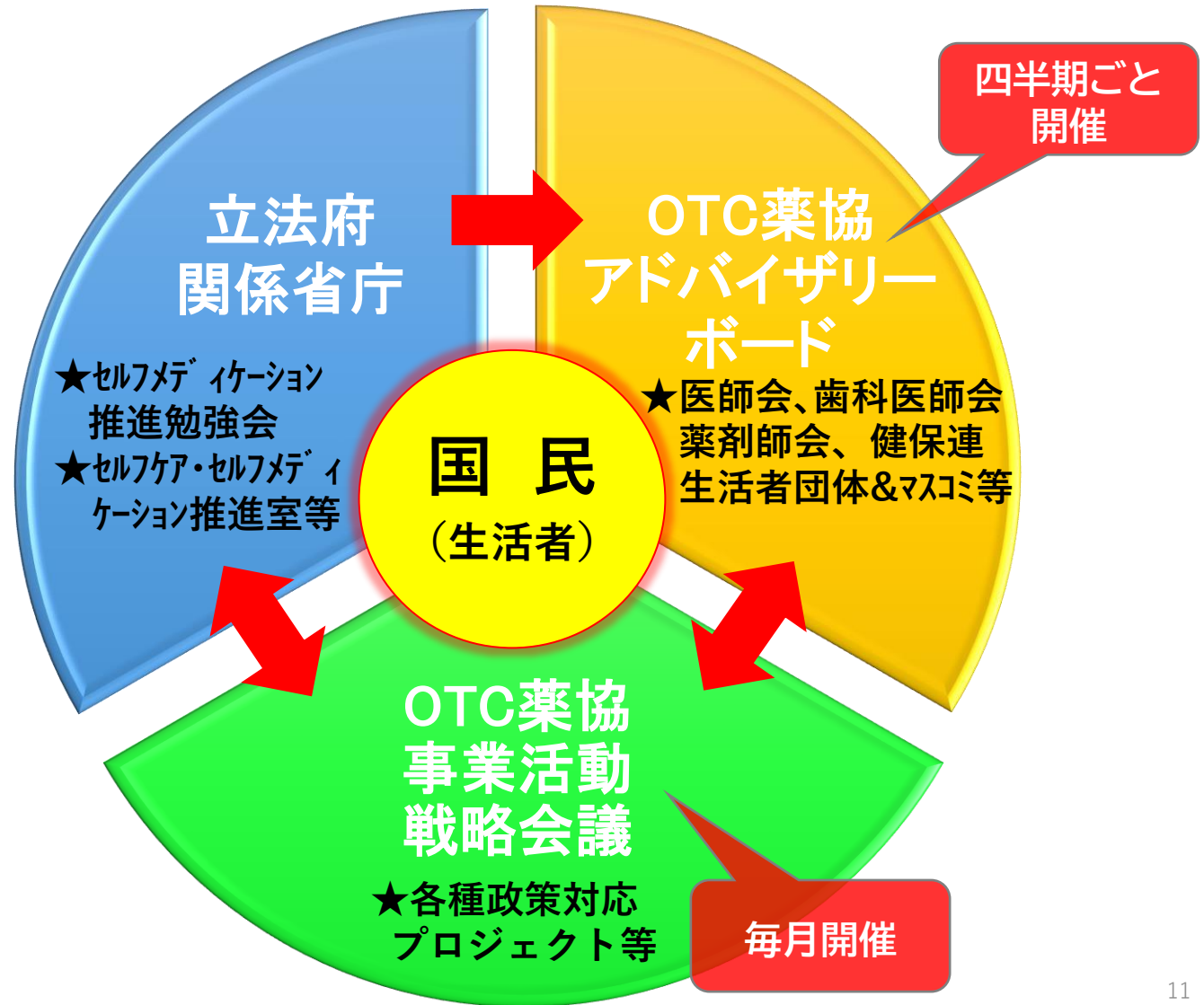
新たにスタートしたアドバイザリーボード



日本OTC医薬品協会アドバイザリーボードメンバー（五十音順・敬称略）

岩月 進（日本薬剤師会常務理事）	宇佐美 伸治（日本歯科医師会常務理事）
幸野 庄司（健康保険組合連合会参与）	河野 紀子（日経BP副編集長）
中山 和弘（聖路加国際大学教授）	平野 健二（日本チェーンドラッグストア協会理事）
宮川 政昭（日本医師会常任理事）	山口 育子（COML理事長）、
磯部 総一郎（OTC医薬品協会理事長）	【陪席：厚労省、及びOTC薬協幹部】

国民を中心に3つのステージで 政策・制度・施策など議論、創出、実現へ



2. OTC医薬品情報(おくすり検索)提供サービスの支援

アドバイザーボード発の「OTC医薬品の情報提供サービス」は、生活者が使いやすく、分かりやすい、信頼できる「OTC医薬品の情報」、及び、その関連情報も俯瞰した情報提供サービスができるよう支援する。具体的には、DX化により、OTC医薬品の品目や成分ごと判別できる共通Codeを設定し、電子おくすり手帳、医療用医薬品との関係、セルフメディケーション税制など、さまざまな情報サービスや手続きで共通して使えるOTC医薬品のプラットフォーム構築を支援する。

AIなど新技術を取り入れ、生活者の利便性向上(使ってみたくなるプラットフォーム)を目指したい

OTC医薬品情報提供サービス

(製品比較)

【検索サービス】

- 症状別
- 種類別
- 体の部位別
- 商品名



・ 成分・分量 ・ 用法・用量 ・ 使用上の注意

各社ではできない情報提供サービスを支援

3. OTC医薬品の品質・信頼性向上に向けた取組み

医薬品業界全体の製造管理、品質管理体制に対して厳しい目が注がれている中、製薬企業の経営者、責任者たる総括製造販売責任者を含む製造販売業三役、医薬品製造管理者及び管理薬剤師を含めた法令遵守体制の整備を進め、会員各社の製造管理・品質管理体制（GMP）、品質保証体制（GQP）及び安全管理体制（GVP）の一層の強化に取り組んでいく。



また、OTC 医薬品においても、医薬品への国民のアクセスの確保、適正販売や適正使用を含むOTC 医薬品の安全対策など、情報通信技術を生かしたデジタル対応が強く求められており、その対策を講じていく。

さらには、国際的に進んでいる e-ラベリングの動向を踏まえ、OTC 添付文書の電子化、市販後における OTC 医薬品のトレーサビリティやデジタル時代に対応した情報提供の在り方、製造販売後調査の実施方法、インバウンド（EC）需要拡大に伴う安全対策などについても、会員会社に共通する課題を抽出・整理し、対応策の検討・実施に取り組んでいく。

4. 広報活動(Public Relations)の強化

国民（生活者）に貢献する政策や制度、施策を進めるためには、生活者は勿論、関係する省庁や団体、マスコミ等に対して積極的な情報発信が必要。今後、協会の様々な活動の中から、公式twitter&協会Webサイト、News Releaseや記者会見等を通じて情報発信を強化していく。現在の協会活動の取組内容を、随時、公式twitterとWebサイトで発信し、定期的にNews Releaseと取材対応、記者会見ができるよう準備を進める。



公式twitter
@JsmiOfficial



5. OTC医薬品産業Statement2030公表へ (ポスト・グランドデザインto2025)

グランドデザインto2025のレビュー、及び、昨今の変化の激しい社会情勢やAIなどIT技術の目覚ましい進化を鑑みて、今後は、10年ではなく5年計画で実現していくStatementとする。

Statementを実現していくために必要な政策等は事業活動戦略会議を中心に協議し、傘下のプロジェクトや委員会、部会、ワーキングで各種政策を具体化して、Statementと共に公表する。それに基づき毎年のPDCAを回していく。



今後の活動方針（まとめ）

1. 当協会だけでなく、国民(生活者)、行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、健保連、マスコミなどとの連携や協力を念頭に置いた活動強化
2. OTC医薬品情報(おくすり検索)提供サービスの支援
3. OTC医薬品の品質・信頼性向上に向けた取組み
4. 広報活動(Public Relations)の強化
5. OTC医薬品産業 Statement2030 公表へ

私からのご説明は以上です。

ご清聴ありがとうございました。